

2018年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	福井県民生協同組合	代表者	竹生 正人	法人・事業所の特徴	越前市の北部に位置し、併設事業には、デイサービス、認知症対応型デイサービス、訪問介護、居宅介護、地域包括があります。地域との繋がりを大切にすることを重視し、地域支援として、認知症カフェや地域との祭り、家族会なども開催しています。生協10の基本ケアという、その人らしい生活を取り戻してもらうための支援を行いながら、“普通の暮らし”を取り戻す支援を目指します。地域の方も協力的で区長、老人会、民生委員との連携もとれています。防災訓練、社会奉仕などの参加や近くの高校と、毎年、交流学习も実施しています。
事業所名	県民せいきょう小規模多機能ホーム 丹南きらめきハウス	管理者	宮本 和彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	2人	0人	0人	3人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	本人像を正しく理解し統一したケアをする為に、ご家族の困っている事を聞き、また家族が困惑しないような伝え方をします。	ミーティングを通じて情報共有や支援内容を検討する機会を多く持つ事ができたが、地域住民や様々な制度理解に対する課題が残った。	<ul style="list-style-type: none"> きらめきのサービスを理解出来てなく、評価といわれても答えようがない。 研修などに職員が参加していることを発信していったらいいのでは？ 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の項目で、職員の取り組みについての発信ができていなかったため、現在取り組んでいる事や、参加した研修等の報告を毎月発行の広報誌「ぼっかぽか」等に記載していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者の思い出の曲や、好きな曲を聞き、色々なジャンルの曲をかけて、居心地のいい雰囲気作りをします。	利用者の居心地の良い雰囲気作りのためにコンポやシアタールームを活用し、利用者が楽しんでいた音楽や映画、映像を楽しんでもらう事ができた。また、毎日のミーティングで環境整備確認についての項目を設け、危険箇所が無いよう配慮した。	<ul style="list-style-type: none"> 玄関が自由に出入り出来るようですが大丈夫ですか？ 音楽をかける、シアタールームを作る、など小さなところから前向きに取り組んでいるのはとても良い事ですね。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束防止のため、今後も変わらず施錠をせず、職員が利用者の外出に気がつけるように玄関ドアに鈴をつけたり、個別対応したりして、見守りを強化する。 音楽やシアタールームなど利用者さんに喜ばれた事は継続して提供していく。
C. 事業所と地域のかかわり	(運営推進会議は、個人情報もあるので参加いただけないが)後家族、地域の方以外にも、利用者のお住まいの民生委員の方にも、イベントの案内をして、参加いただけるようにする。また、ご家族にも認知症カフェの案内をする。	きらめきの祭りやイベント等の案内を行うことで利用者や家族、地域の方をお招きする事ができた。認知症カフェや認知症サポーター養成講座についても、地域のコマダ珈琲で開催をする事ができ、参加者も増えてきている。	<ul style="list-style-type: none"> 越前市ならではのコミュニティがしっかり出来ていて相談、解決ができていと思う。 認知症サポーター講座開催も地域との関わりにつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 夢カフェ(認知症カフェ)、認知症サポーター講座、避難訓練などの地方の方との関わりを継続していく。 今後も近隣の住民や企業と連携する方法を模索していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	行事としての外出だけではなく、気軽に地域に出かける機会を増やしていきます。	余暇活動時間を活用し、近隣の畑を借りたり、ハーツに出かけたりして、ヒトやモノとの関わりを持たせた。また、利用者が役割を持って地域で生活できるよう家事訓練や地域の行事に参加する支援ができた。	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントには参加して欲しい。どんど焼きなど。でも、寒さや場所によっては参加が難しいのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 外に出る機会を提案する際、本人の気持ちや季節に応じた内容を企画、提案していく 地域のイベント等で本人の行きたいと思っている場所に行けるよう支援する

E. 運営推進会議を活かした取組み	改善計画、年度方針に対して評価項目を作り運営会議で報告していきます。	運営推進会議で前年度の改善計画に対しての進捗報告をする事はできていなかったが、運営推進会議を活用し地域住民の困りごとを発見し、相談対応する事ができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内で高齢の方や心配な方には民生委員の方が関わっているのが実状。 ・地域での事例があれば事業所に持参頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で困っている事や、利用者さんの処遇についての検討が運営推進会議でできるようレジュメの中に追加する。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ① 応援体制を整える ② 施設の避難経路を作って表示する ③ 防災訓練に、地区の消防団に参加して頂く取り組みをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業所間での連絡体制や応援体制を整える事はできたが、地域との連携強化までには至らなかった ② 緊急時の機器操作手順を分かりやすいものに更新する事ができたが、避難経路図については作成する事ができなかった ③ 防災訓練に地区の消防団を招く事はできなかったが、継続して運営推進会議で防災訓練を実施し、評価をもらうことはできた 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の内容が把握出来てなく、動きが読めない所があった。 ・避難訓練の見せ方、見られ方を検討すべき。予測の出来ない火事が一番対処に困るので火事の時を重要視して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も運営推進会議等で防災訓練を外部の方に見学していただく。 ・訓練の際は、様々な場面を想定し、見学者も概要を想定しながら見る事ができるよう配慮する。